

【令和元年度 学校関係者評価書】

学校名	奈良市立 鼓阪小学校
評価者名 (若草中学校区学校運営協議会 鼓阪小学校部会)	和東 海治郎 山口 信子 宝来 一典 渡邊 良憲 村田 昌三 上田 亜可里
学校関係者評価実施日	令和2年1月28日

大項目	中項目	目標達成状況及び 取組状況について	学校の取組の 適切さについて	教育活動、学校経営の 改善方針について
I 教育活動に関するもの	教育目標・教育計画 教科指導 道徳教育 特別活動 総合的な学習の時間の指導 人権教育 生徒指導 キャリア教育 特別支援教育 体力向上推進	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価では、肯定的評価は90%であった。 ・「学校は、子どもに社会のルールやマナーについて身につかせようとしている」が96%の高評価を得た。 ・「子どもは、よくあいさつをする」は86%に留まったが、正門や交差点で登校時に立っていると、目を見てあいさつが出来る子が増えてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校では、毛染めの健康被害について、学校だけで保護者に啓発したり、児童集会で児童に働きかけたりしたことで、増加傾向に歯止めがなかったのではないかと。 ・運動会やつぎかフェスタを見ていると、先生方の一生懸命さが伝わってくる。鼓阪フェスタでは、子どもたちの発表態度がよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毛染めなどの「おしゃれ障害」や「携帯・スマホ」などについては、今後も保護者への啓発や児童への働きかけを根気強く進めていくことが必要である。 ・今後も地域と連携しながら、児童の探求心や表現力を高めるための教育活動を充実させることが大切である。
II 学校経営に関するもの	組織運営 研究・研修 安全管理 保健管理 小中一貫教育 地域との連携 施設・設備 情報管理	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価では、肯定的評価は92%を得た。 ・「学校は、緊急時の対応について児童や保護者に知らせている」が98%の高評価であった。 ・「学校は、地域と連携して教育を進めようとしている。」は92%であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校にいる時間帯に地震等の災害が発生した時を想定した「児童引き渡し訓練」を実施したことが、保護者の高評価につながったのではないかと。 ・「つぎかの夏祭り」で1年生が描いた大仏の絵をデザインに使ったり、和太鼓がオープニングで演奏したりするなど地域との一体感は高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練と同時期に行うなど、来年度もPTAと相談しながら「児童引き渡し訓練」の効果的な実施を進めればよい。 ・今後も地域行事に児童が関わっていけるように学校と地域が連携していくとともに、HP等で学校情報を発信するなどして、取り組みをアピールすることが大切である。

その他の学校に関する意見

・学校評価アンケートのどの項目も80%以上の肯定的評価を得ているのは、よい結果といえるのではないかと。ただ、児童数が少ないので、一人の評価の変化で結果が容易に変わってしまうかもしれない。

・学校評価アンケートの提出率が、年末の慌ただしい時期だったこともあってか、回答率が低い。保護者の声を学校運営に反映させ、学校教育を活性化するために、実施時期の検討や周知文の工夫など回答率を上げる取組が必要である。保護者が距離感を感じているという認識を持ち、共感的な対応を心がけるべきである。

・学校が老朽化しているため(舞台の幕など)、もっと地域の協力を得ることができるよう働きかけていけばよい。